

令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりの個性・可能性の開発と伸長が図れる教育を実践する。 ○必要な社会実践力を具体化し、それを身につけさせる。 ○学ぶ意欲、学ぶ楽しさを意識した授業改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科において一人一台端末を活用した授業のさらなる充実を図ることによって思考力・判断力・表現力の伸長を図る。 ・RT-21 ステップからのジャンプへの繋がりからより生徒同士の共同を図れる教材を開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを活用し、生徒の双方向の学習活動を広げることで授業の充実につなげる。 ・毎回行う確認テストや探究活動をとおして次の教材作成に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートを通じ、わかりやすい授業が評価を高めることができたか。 ・学習活動の中で生徒の理解度を把握できたか。振り返りの結果を教材開発に生かすことができたか。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○組織的な支援体制により、生徒一人ひとりが落ち着いて学習に取り組める環境を整える。 ○生徒を支援するという視点を持って、生徒指導を進め、学習・生活環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な生徒を見極め、悩みを抱えている生徒を取り残すことがないように努める。 ・校外において、集団生活を通じて秩序を守り、基本的な生活習慣を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かながわ子どもサポートドック等を活用し、緊急性の高い生徒から優先的にSCやSSWによるプッシュ型面談を実施する。 ・一斉指導や登下校指導等において、ルールやマナーを理解させ、また遵守させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かながわ子どもサポートドックから表面化しにくい困難を発見できたか。 ・学校全体で共通認識を持って指導できたか。また、登下校の苦情件数は減ったか。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○自立した個人として自己のキャリア意識を高め、社会と関わり貢献できる生徒を育成する。 ○進路体験活動及び進路フェアの充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関と連携して、進路行事だけでなく、授業にも外部資源を活用する。 ・進路体験活動や進路フェアでは本人の適性や希望を尊重し、参加プログラムを自主的に選ばせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高大連携の大学と連携し、3学年の総合的な探究の時間で、入試対策セミナーや探究活動を実施する。 ・進路体験活動のオープンキャンパス希望者には事前に適性診断を行わせ、自分に合った学校を見つけられるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路への意識を高めるような進路適性検査やガイダンスが実施できたか。 ・進路に関する授業や進路行事を行って、生徒の進路への意識が高まったか。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や地域との協働による学校づくりを推進し、人と社会と未来につながる開かれた学校づくりを推進する。 ○中学生及びその保護者に本校の特色・情報等を効果的に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に生徒ボランティアの参加を促すとともに学校行事を中心として、地域と一体となった活動を展開し、本校における取組を周知する。 ・HP、X（旧ツイッター）などで本校の取組状況を発信し、学校説明会や個別相談会の充実を図りながら教育活動を理解してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒ボランティアの参加、地域貢献デーやクリーンチャレンジ、文化祭等を通じ、PTAや近隣施設等との連携する機会を増やす。 ・全公立展を手始めに学校説明会や個別相談会、学校見学、中学校教員対象説明などを通じ、本校の魅力を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等の生徒の参加者数の増加率やアンケートの実施結果により近隣の評価を高めることができたか。 ・学校説明会、個別相談会等の参加者へのアンケートによる良いという評価の割合を高めることができたか。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての職員が学校運営の主体としての意識を共有し、一体となって教育活動に取り組む組織づくりを行う。 ○職員の同僚性を高め事故・不祥事ゼロを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時に職員が備蓄品を使えるように備蓄倉庫を整備する。 ・教職員の常に相談できる雰囲気づくりを進め、相互理解を深めることで事故、不祥事を防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品の管理並びに、非常時に取り出しやすく使いやすいように備蓄倉庫を整備する。 ・衛生委員会による職場環境の改善、不祥事防止研修会の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品の管理、備蓄倉庫の整備はできたか。 ・職場環境はストレスチェック、不祥事防止については年度末にアンケート等で職員の意識向上が図れたか。